

# 平成27年度 徳島県立名西高等学校経営計画

## 1 学校教育目標

- 1 本校の歴史と伝統を重んじ、知・徳・体の調和がとれた誠実で民主的・創造的な実践力のある心身共にたくましい人間を育成する。
- 2 生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすとともに、個人の尊厳と基本的人権を尊重し、民主社会の実現に貢献できる人間を育成する。
- 3 我が国の文化と伝統を尊重するとともに、平和な国際社会づくりに貢献できる人材を育成する。

## 2 学校経営計画中期的目標

- 1 真に自分を大切にする教育の徹底により、正しい人権感覚を身につけるとともに、自己実現への意欲や態度を養う。
- 2 芸術科の充実及び国際理解教育の推進を図り、文化の創造と社会の発展に貢献できる人材を育成する。

## 3 本年度重点目標

- ① 望ましい人生観・職業観の育成と進路実現
- ② 豊かな人間性を育てる心の教育の推進
- ③ 基本的生活習慣の確立と社会人としての資質の育成
- ④ 新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上
- ⑤ 文化芸術活動における地域への積極的な創造発信
- ⑥ 地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進
- ⑦ ホームルーム活動と部活動の活性化
- ⑧ 防災・安全教育の徹底と環境教育の推進

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画	評価	総合評価			
希望の進路をかなえさせる	①望ましい人生観・職業観の育成と進路実現	進路指導課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
			① 生徒に進路情報を随時提供することができたか。	①				(所見)
			② 生徒の進路希望に応じた職場の確保や開拓ができたか。	②				
			③ 希望が達成できるように各種機関を利用し支援することができたか。	③				
		④ 最終進路先に満足する生徒の割合が90%以上、本校の進路指導に満足する生徒の割合が90%以上であったか。	④					
		進路指導課	活動計画	活動計画の実施状況	総合評価 (所見)			
			① 生徒に進路情報を随時提供する。 (「木鐸」年1回、職場体験やオープンキャンパス等各種案内随時)	①				
			② 職場訪問を20社以上行う。 職場開拓を5社以上行う。	②				
③ マッチングフェアを利用し、ハローワークと連携を深め、未決定者への支援を行う。	③							
④ 生徒の進路相談に随時応じ、丁寧な進路指導を行う。	④							
進路指導課 3学年共通	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)					
	⑤ 進路に関する講演会や学年別進路集会を通して、学力向上への意欲や望ましい職業観の確立を図ることができたか。	⑤						
進路指導課 3学年共通	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)					
	⑤ 講演会や進路集会を各学年2回以上開催する。	⑤						

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
自己肯定感や他者を尊重する姿勢を持てるよう指導する	②豊かな人間性を育てる心の教育の推進	人権教育課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
			① いじめ問題や人権に関する課題について教職員間で共通認識が持てたか。	①			
			② 生徒による人権意識を高める活動を推進することができたか。	②			
		③ 人権や人格を尊重し、いじめや差別を許さない生徒の意識や態度を育てることができているか。	③				
		活動計画	活動計画の実施状況				
		① 学年検討会や人権教育研修会を開催したり、校外の研修会に参加して職員会議等の機会にその報告を行ったりする。	①				
	② 生徒会人権委員会による人権に関する展示や朝の朗読を行う。	②					
	③ 3年生対象の「人権に関する意識調査」において、人権課題に取り組む意欲を示す回答を70%以上にする。	③					
	生徒指導課 教育相談	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)			
		④ 学校いじめ防止方針に基づき、いじめ防止に取り組めたか。	④				
		⑤ 必要に応じた職員研修やケース会議が実施できたか。	⑤				
	生徒指導課 教育相談	活動計画	活動計画の実施状況				
④ 年間計画を作成し、未然防止の取り組みを徹底させる。		④					
			⑤ 教科担任会や学年会・職員研修を計画し、効率的に運用する。	⑤			

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画		評価			
生徒の自主的な活動のサポート体制をさらに強化する	②豊かな人間性を育てる心の教育の推進	特別活動課	評価指標	⑥ 全校生に趣旨の徹底をはかるとともに自発的にとりくむことができたか。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
			活動計画	⑥ 生徒会が中心となり、自主的に募金活動等のボランティア活動を実施する。	活動計画の実施状況			(所見)
		図書課 各学年	評価指標	⑦ 全教職員の理解を得られるように、「朝の読書」の主旨を知らせ、協力を得られたか。	評価指標の達成度	⑦		総合評価 (評定)
			活動計画	⑦ 「朝の読書」を充実させるため、原則として全員の教職員が指導に当たり、生徒も教職員も読書を楽しむ。また楽しめていない生徒への関わりを深めてもらう。	活動計画の実施状況	⑦		
			図書課 各学年	評価指標	⑧ アンケートを実施して結果を周知し、改善を図ったか。	評価指標の達成度		総合評価 (所見)
				活動計画	⑧ 「読書の生活化プロジェクトⅣ」の取り組みとして、年2回、家庭での読書時間調査を実施する。結果を周知し、人生に潤いをもたらす読書活動を定着させていく。	活動計画の実施状況		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価			
計画的・効果的な情操教育を展開する	②豊かな人間性を育てる心の教育の推進	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
			⑨ 校内展覧会・演奏会などを通して豊かな感性の伸長を図り、情操教育を展開することができたか。	⑨			
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)			
		⑨ 県内唯一の芸術科を持つ学校としてその有利性を発揮し、美術・書道の常時展示や文化祭等での演奏などを積極的に行う。	⑨				
	保健厚生課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
			⑩ 保健室の機能を生かし、養護教諭、サポートセンターと連携した相談支援活動を行うことができたか。		⑩		
		⑪ 年間3回健康相談を実施し、生徒の健康の保持増進に努めることができたか。	⑪	(所見)			
		活動計画	活動計画の実施状況				
⑩ 生徒の心の悩みに気づき、担任、保護者、養護教諭、サポートセンターとの連携を図る。必要な場合は専門の相談機関等につなげる。	⑩						
	⑪ 年間3回、学期ごとに1回、学校医による健康相談を実施する。	⑪					

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
基本的な生活習慣の確立と社会人としての資質の育成	③基本的な生活習慣の確立と社会人としての資質の育成	生徒指導課 各学年	評価指標	評価指標の達成度	総合評価  (評定)  (所見)	
			① 遅刻数の増減を確認し、改善するよう適切に指導できたか。	①		
			② スマホマナーアップ運動を展開し、スマホによるトラブルを減少させることができたか。	②		
			③ 交通マナーが向上し、交通事故を防ぐことができたか。	③		
		④ 規範意識の高揚を図り、その結果特別指導数が減少してきたか。	④			
		生徒指導課 各学年	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 遅刻した生徒に対して、遅刻カードを記入させ、遅刻数を確認させる。また各学期で10回以上遅刻した生徒に対して遅刻指導を行う。	①		
			② クリアファイルの配布やポスター掲示など、スマホマナーアップ運動を充実させる。また、生徒会やPTAと連携を図る。	②		
③ 交通事故の防止と交通マナーの向上に向けた指導を行う。(街頭登校指導(月1回)・交通安全キャンペーン(年2回)・交通安全講話(年2回)・自動車免許取得のための講習会(年2回)の実施。	③					
④ 社会のルールや法律、学校の規則に対する規範意識の高揚を図る。全校集会やホームルーム活動を中心に、機会あるごとにルールを守る大切さを理解させる。	④					

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
基本的な生活習慣の確立を目指す	③ 基本的な生活習慣の確立と社会人としての資質の育成	保健厚生課	評価指標	⑤ 内科検診、結核検診、心電図検査の全員受診、二次検査対象者の全員受診を完了することができたか。	⑤	総合評価 (評定) (所見)
			活動計画	⑥ ほげんだよりを毎月1回以上は発行することができたか。 健康や性に関する講演会を年1回以上実施することができたか。	⑥	
		保健厚生課	評価指標	⑤ 健康診断の結果、二次検査が必要な生徒に対して受診指示を周知徹底する。	⑤	
			活動計画	⑥ ほげんだより、文化祭の展示などの啓発活動を実施する。 健康や性に関する講演会を実施し、生徒の意識の向上と理解を深める。	⑥	
	特別活動課	評価指標	⑦ 毎週1回以上実施できたか。	⑦	総合評価 (評定) (所見)	
		活動計画	⑦ 生徒会役員が中心となり、登校時に「あいさつ運動」を実施する。	⑦		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
基礎学力の向上を目指す	④新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上	教務課 進路指導課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価  (評定)  (所見)	
			① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が各学年ともに30%以上、かつゼロ時間の者が各学年ともにゼロであったか。	①		
			② 欠点者数の割合が、前学期あるいは前年度よりも減少したか。	②		
			③ 成績不振者への対応ができたか。	③		
			④ 授業時数確保に努める。	④		
			⑤ ST(ステップアップトレーニング)において、1・2年国語では確認テストの平均得点率7割以上の者が70%以上であったか。1・2年数学では各問の正答率が80%以上であったか。英語は平均得点率6割以上の者が30%以上であったか。	⑤		
		⑥ 家庭学習時間を確保させるために、各教科でSTの実施曜日にあわせた家庭での課題を計画的に実施する。	⑥			
		教務課 進路指導課	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。	①		
			② 欠点を取らないよう、授業やホームルーム、集会等で学習意欲を喚起させ、授業態度や提出物等の指導をより徹底する。	②		
			③ 定期考査における成績不振者には長期休業中に補講や特別補講、復習課題を課し、学力補充に努めさせる。	③		
			④ 行事などの精選を図るとともに、自習を減らす。	④		
⑤ 基礎学力向上を図るためのST(国語、数学、英語)を年間計画に位置づける。	⑤					
教務課 進路指導課	⑥ 1, 2年生におけるSTの課題、全学年における各教科の課題を計画的、継続的に実施する。	⑥				



重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
読解力の向上による学力向上を目指す	④新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上	図書課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
			⑦ 全校読書会や読み聞かせの会への参加者が前年度より増加したか。	⑦		
			⑧ 家庭での平均読書時間10分以上の者が30%以上になったか。	⑧		
			⑨ 「名高ライブラリー」を定期的に発行し、広報を活発にしたか。	⑨		
		図書課 国語科	⑩ 図書館の利用や本の貸出が増えたか。	⑩		
			⑪ 読書やステップアップトレーニングを通して、語彙力や国語常識が身についてきたか。	⑪		
		図書課	活動計画	活動計画の実施状況		
			⑦ 全校読書会や読み聞かせの会の実施案内を周知して、積極的な参加を促す。参加した生徒が次回も参加したいと思えるような企画にする。	⑦		
			⑧ 「朝の読書」の取り組みを十分に生かし、家庭での読書時間を増やしていく。学級文庫の活用や図書室の本をテーマ別に紹介して、読書へ誘う。	⑧		
			⑨ 広報紙等により、読書の意義や各分野の推薦図書を知らせ、幅広い本を紹介していく。	⑨		
⑩ 図書館の利用や図書館の本の貸出を推進する。	⑩					
⑪ 読書やステップアップトレーニングを通して、語彙力や国語常識を身につけ、読解力へつなげていく。	⑪					
図書課 国語科						

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
さらなる学力向上を目指す	④新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上	3 学年共通 総合学習科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
			⑫ 面談を実施し、個別学習指導ができたか。	⑫			
			⑬ 効果的にテキストを活用し、計画どおりに実施できたか。	⑬			
		⑭ 生徒を対象とした小論文講演会を実施する。	⑭				
		活動計画	活動計画の実施状況				
		⑫ 全生徒と4回以上学習についての面談をする。	⑫				
	3 学年共通 総合学習科	⑬ 小論文学習において国際理解をテーマとする時間を設定する。	⑬				
		⑭ 国際理解・国際交流の体験・学習を小論文の形で表現できる力をつける。	⑭				
		英語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
	⑮ 授業評価アンケートを実施して評価する。	⑮					
	⑯ STテストや週末課題が計画どおり実施でき、生徒の英語力が向上したか。	⑯					
	英語科	⑰ 英検等の資格・検定試験の受検者数・合格者数は増えたか。英語セミナーなどへの参加者は増えたか。	⑰				
活動計画		活動計画の実施状況					
⑮ 英検 I B A を実施し、生徒の英語力の調査・分析を行い、生徒の英語学習へのモチベーションの向上、教員の指導改善を図る。		⑮					
英語科	⑯ 「ステップアップトレーニング」の授業・週末課題・確認テストのサイクルを円滑に実施し、英語の基礎力を高める。	⑯					
	⑰ 英検 1 次試験のサブ会場を本校で実施し、受検機会を増やす。各種資格・検定試験や英語セミナーの情報提供を行う。	⑰					

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価			
国際理解教育の推進を続ける	④新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上	国際課 英語科	評価指標	⑱ 外国の文化・慣習等に興味・関心を持ち、国際交流への意識は高まったか。	⑱	総合評価 (評定) (所見)	
				⑲ 生徒の国際理解は深まったか。	⑲		
				⑳ ドイツ研修旅行の事前研修が円滑にすすみ、旅行が充実したものになったか。	⑳		
		国際課 英語科	活動計画	⑱ 海外姉妹校との交流を継続して行い情報提供をするとともに、ドイツ研修旅行の計画・実施を行う。	⑱		
				⑲ 外国の方や海外経験の豊富な日本人を招き講演会を実施することで、生徒の国際理解を深める。	⑲		
				⑳ ドイツ研修旅行の事前準備・実施を円滑に行う。	⑳		
⑤文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	情報視聴覚課	評価指標	① 各行事の結果等についてホームページで発信できたか。	①	総合評価 (評定) (所見)		
		活動計画	① 各取組をホームページを通して頻度多く発信する。	①			

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
地域社会への情報発信を強化する	⑤文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	(評定)  (所見)		
			② 音楽科の生徒及び普通科音楽選択生に、伝統音楽や和楽器の授業を実施できたか。書道・日本画など伝統文化の継承者を育てることができたか。	②			
			③ 音楽科の和楽器専攻の受検者や箏曲・美術・書道に興味を持つ生徒が増えたか。	③			
		活動計画	評価指標の達成度				
		② 1. 2年普通科・芸術科の授業に、和楽器の演習を年間4時間以上取り入れる。日本の伝統芸術に興味・関心を持たせ、継承者を育てる。作品等を展示し全校生徒にアピールする。	②				
		③ 和楽器専攻生の募集や箏曲部の活動を積極的に進める。日本の伝統芸能や書道・日本画など日本文化を継承する人材を育成する。	③				

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画		評価			
地域社会への情報発信を強化する	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	総務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
			① P T A活動で保護者と生徒、教職員が協力して校外清掃奉仕活動や、校内美化活動ができたか。	①				(評定)
			② 文化祭でバザー、模擬店の出店や、体育祭では麦茶の提供ができたか。	②				(評定)
			③ 高P連や生指協関連の大会・研修への参加を含め、P T A研修を実施できたか。	③				
			④ 「P T A通信」を発行し、会員に報告・広報できたか。	④				
			⑤ 年1回藤花同窓会が開催できたか。	⑤				
			⑥ 90周年記念キャラクター「くおんちゃん」を同窓会のシンボルとして広報できたか。	⑥				
		⑦ 卒業生の同窓会入会式が開催できたか。	⑦					
		活動計画	活動計画の実施状況					
		① P T A役員の方々により、石井駅周辺や通学路の清掃奉仕活動を実施する。校内正門・玄関周辺の植栽（プランター）を整備する。	①					
		② P T Aによるバザーや模擬店を文化祭で開催、また体育祭においては麦茶の提供を行う。	②					
		③ 県高P連総会や研修会、生指協連絡協議会等に参加し研修する。また、大学訪問を実施し、進路について研修を深める。	③					
		④ 卒業式に合わせて「P T A通信」を発行し、1年間のP T A活動を総括し、会員に報告・広報をする。	④					
		⑤ 第36回藤花同窓会を開催する。	⑤					
⑥ 「くおんちゃん」クリアファイルを制作し、中学生対象の説明会などで広く配布し、名西高校同窓会のシンボルとして広報できたか。	⑥							
⑦ 卒業式前日に同窓会入会式を実施し、委嘱状を同窓会役員から各クラス理事に手渡し、同窓会会員となる自覚を促す。	⑦							

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価			
地域社会への情報発信を強化する	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	教務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
			⑤ 「入学案内」の構成や情報内容が改良，更新されたか。	⑤			
		⑥ 体験入学の参加生徒や保護者に，本校教育の内容やその説明がよく理解できたと評価されたか。	⑥				
		教務課	活動計画	活動計画の実施状況			
			⑤ 本校教育の内容をよく理解し，わかりやすい特色にまとめ上げ，説明会等の資料にも活用する。	⑤			
		⑥ 体験入学，学校説明会，HP等を通じて，本校教育の特色など本校に関する情報を提供し，中学生に進路選択に活用してもらう。体験入学等のポスターを作成し多くの参加者を募る。理解状況は，体験入学時にはアンケート等も実施して確認する。	⑥				
	情報視聴覚課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
		⑦ 学校での様々な取組みをホームページで紹介できたか。	⑦				
	情報視聴覚課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)			
		⑦ 学校行事や部活動等の様々な取組みをホームページで頻度多く掲載する。月に10回以上の更新を行う。	⑦				
	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)			
			⑧ 校外での展覧会・音楽会等の広報活動を行い，多くの観客を動員することができたか。		⑧		
⑨ 県内唯一の芸術科を有する学校として，地域社会と連携し芸術・文化の発信に寄与する事ができたか。		⑨					
芸術科	活動計画	活動計画の実施状況					
	⑧ 地域社会での文化祭，展覧会，文化行事などに積極的に参加する。年間3回以上行う。	⑧					
⑨ 地域社会と連携し，校内・校外で合同展覧会・合同演奏会を行い生徒の作品や演奏を披露するとともに，地域社会での芸術活動の一翼を担う。	⑨						

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画	評価			
地域社会への情報発信を強化する	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	生徒指導課	評価指標	⑩ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して地域の安全や美化活動に貢献できたか。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
		生徒指導課 家庭科		⑪ 交通安全キャンペーンで学校家庭クラブがマスコットを製作し、自主的・積極的に地域での活動に参加できたか。	⑪		(所見)
		生徒指導課	活動計画	⑩ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーンを実施する。	⑩	活動計画の実施状況	
		生徒指導課 家庭科		⑪ 交通安全キャンペーンで学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。	⑪		
生徒の自主的・自発的活動を支援する	⑦ホームルーム活動と部活動の活性化	特別活動課	評価指標	① ホームルーム活動の時間数が確保できたか。ホームルーム活動の内容(18項目)が実施されたか。	①	総合評価 (評定)	
				② 活動者数(部員数)は増えたか。大会参加や発表の機会は増えたか。大会等での成績は向上したか。	②		
		特別活動課	活動計画	① 生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようなホームルーム活動を行う。	①	活動計画の実施状況	(所見)
				② 生徒自らが意欲的に活動できる充実した部活動を行う。	②		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画	評価			
環境美化と防災意識を高める	⑧防災・安全教育の徹底と環境教育の推進	環境教育課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
			① 避難訓練を年2回実施したか。	①			
			② 外部機関と連携した防災教育を実施したか。	②			
			③ 防災クラブの活動が十分に行えたか。	③			
			活動計画	活動計画の実施状況			
			① 緊急時に適切な行動がとれるようにするため、地震・火災を想定した避難訓練を実施する。	①			
	② 安全確保に対する意識を高めるため、防災教育を充実させる。	②					
	③ 防災クラブの活動として、1・2学期末に防災活動を積極的に行う。	③					
	環境教育課		環境教育課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
				④ ゴミの分別をすることがECOにつながることを自覚させることができたか。	④		
				⑤ 環境を整え学習効果をあげるとともに、美化を推進することができたか。	⑤		
				⑥ 地域の美化に貢献する気持ちを育て、奉仕の精神を養うことができたか。	⑥		
活動計画				活動計画の実施状況			
④ ゴミ分別チェック表を毎月提出する。				④			
⑤ 月に1回大掃除を実施する。	⑤						
⑥ 1, 2学期末に校外奉仕活動を積極的に行う。	⑥						